



三次中央会報

ロータリークラブ

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-5-5
グランラッセレ三次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長 / 小根森 直子
幹事 / 井上 幸三

■本日のプログラム ゲスト講演/国際奉仕委員会
米山奨学生アラ・モスト タンジマンさん
(バングラディシュ) 庄原RC

■次回例会日時 2019年10月21日(月) 12:30~

■次回プログラム 社会奉仕委員会
委員長卓話「後見人について」

●2019~20年度 国際ロータリーのテーマ



●2019~2020年度 三次中央RCスローガン

仲間とつながり、
クラブに更なる輝きを

■第1276回例会記録

- 日時.....2019年9月30日(月)19:00~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「奉仕の理想」.....全員

■開会挨拶.....小根森会長

ラグビー 平尾誠二氏

皆さんこんばんは。3週間のご無沙汰でしたがお元気でお過ごしでしたでしょうか。

最近のテレビを見て思うのですが、スポーツにおける日本人の活躍にはめざましいものがあります。ことに先週土曜日のラグビーアイルランド戦は大変な盛り上がりでした。私などラグビーについてはほとんど何も知らず今までテレビで観戦したこともないのですがマスコミに影響されて試合を見てみますと、確かに迫力があって大変面白いスポーツだと感動しました。

ラグビー選手には伝説の名選手が沢山おられるようですが、今日は2016年に癌の為に53歳の若さでなくなった平尾誠二氏についてお話致します。

彼は晩年にはIPS細胞でノーベル賞を受けられた山中伸弥氏と親交が深くその追悼本が話題になりました



たのでご存じの方も多いかと思います。

平尾氏は中学校から大学までラグビーに没頭した後、組織重視の日本ラグビーの在り方に疑問を持ち本場イギリスに渡ります。そしてそのイギリスで個人が自ら考えるラグビー、個人が育てば組織も育つというセオリーに出会い日本にその精神を持ち帰ります。今の日本ラグビーの強さの基礎を築いたのが平尾誠二氏だということです。

彼は様々な名言を遺し、本も沢山出ていますが、数ある言葉の中で私が特に印象深く感じたのは「運を引き寄せるのは素直さと愛嬌だ」という言葉です。「素直さとは実行力、愛嬌は人に好かれる明るさ」と私なりに解釈しています。私も運を引き寄せるようにこの言葉を大切にしたいと思います。





箕田前々会長乾杯

沈委員長

夏の家族会写真スライドショー

夏の家族会では、皆さんに大変ご苦勞いただきました。
ご家族の皆様にも楽しんでいただけたことと思います。

今夜は、家族会の映像を見ながら、ゆっくりくつろいで、
親睦を深めていただきたいと思います。

沈 勝義 親睦委員長

2019 夏の家族会 in 酒屋コミュニティーセンター

2019.8.19



「ロータリーの友」10月号の読みどころ

10月は「地域社会の経済発展月間、米山月間」

10月7～13日は「ロータリー学友参加推進週間」

P19～ 特集「米山月間」では、米山学友による第2回世界大会「絆inモンゴル」の開催報告が掲載。

P24～ ロータリー学友会とは、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ロータリー財団奨学金、米山奨学金など、ロータリーのプログラム経験者だそうで、全国で発足しています。その活動報告が掲載されています。

P34～ 侃侃諤諤(かんかんがくがく)は、あるテーマを基に意見を交換する新コーナー！
第1回目は「例会の服装、どうしていますか？」と題して、会員の皆さまの自クラブの事例、意見が掲載されています。

P38～ END PORIO NOW 「ポリオサバイバーとして ロータリアンとして」では、
第2770地区の小林ガバナーが自身の経験を踏まえ、根絶に向ける思いを具体的に活動で表すため、10月24日の世界ポリオデーでイベント開催。

P80～ 「この人 訪ねて」では、横浜RCの工藤誠一さん。この方、東大合格者数では今年ついに灘高を抜き4強入りした、全国屈指の東大進学校で中高一貫校の聖光学院の校長先生。教育を受けるとは、「人の生き方から学び、自分らしい生き方を身につける事です」「弱気を助け強きをくじく。常に他人を思いやり、やさしくあれ」 ご一読を！

ロータリー情報委員長 瀧本喜文

美術館遊歩道 奥田元宗歌碑

奥田元宗画伯の歌碑について、2012年11月19日、当時の平田博紀会長が会長あいさつの中で、述べていらっしゃいましたのでその一部分をご紹介します。

地元古舎町出身の故奥田元宗画伯は、ご存命中、宮中歌会始の席で

「彩れる秋うつさむと山峽に木葉しぐれの音をききおり」と、詠じられました。ご生家の近く三次市最高峰の岡田山の麓を散策中の作とか。句碑は今、静かに奥田元宗・小由女美術館の遊歩道にたたずんでいます。
*この歌会始は、1981年昭和天皇の御代、奥田元宗画伯が召人を務められた折りのものです。画伯は短歌の世界にも傑出した才能を示されました。



▶ 歌碑



◀ 遊歩道

文：和田ひとみ会員

写真：奥田元宗・小由女美術館ホームページより